

滅びゆく北極圏の民族！その生存を背負った一人の日本人！華麗なオーロラの下に展開する凄絶壮大なロマン！

アラスカ物語



新田次郎 ■ 原作
堀川弘通 ■ 監督作品
(新潮社題)

製作 ■ 田中友幸
脚本 ■ 藤井浩明
山田順彦
撮影 ■ 井手雅人
岡崎宏三
美術 ■ 薩谷和夫
録音 ■ 原島俊男
照明 ■ 小島正七
音楽 ■ 佐藤勝

東京映画創立25周年記念作品
カラー作品 パナビジョン
東京映画 製作
東宝株式会社 配給

岡田 英次
丹波 哲郎

ウイリアム・ロス
ダン・ケネディ
タム・ガレイ
ジム・ハワーズ
丹波・ハワーズ
義隆

宮下 順子

夏八木 勲

三林 京子

北大路 欣也



協力 ■ 米国商務省観光局
アラスカ州政府事務所
アラスカフラッグ・エア社
ノースウエスト航空会社
北海道紋別市

アラスカ物語

新田次郎 ■ 原作 / 堀川弘通 監督作品 《カラー作品》パナビジョン



解説

新田次郎原作の同名小説の映画化です。明治のなか頃、雪と氷の世界の中で飢餓に苦しむエスキモーのために新天地バー村を築き、アラスカに大きな足跡を残した日本人フランク安田の波乱に富んだ愛と冒険の物語を、日本映画初の長期アラスカロケで感動深く描いた話題の超大作です。

出演者はフランク安田に北大路欣也、妻のネビロに51年度日本映画・テレビ製作者協会賞とゴールデン・アロー新人賞を獲得した三林子京子が映画に初出演しているほか、丹波哲郎、実戸錠、夏八木勲、岡田英次、丹波義隆らに日活の宮下順子、他社初出演しています。

＜サントラ盤・キングレコード＞

物語

宮城県石巻——二十才の安田恭輔にとって目の前の海には理想と冒険が広がっていた。恭輔は単身アメリカへ渡った。明治十九年（一八八七年）である。

明治二十三年（一八九〇年）、フランク安田と名を変えた。風が舞い上げる雪の中にイグルー（天幕）が点々とするだけのポイントバロー。プロワー交易所は食糧、衣料品などの生活必需品をあつかっているが、フランクはこの助手として働くことになった。

エスキモーたちはフランクをジャパニーズ・エスキモーと歓迎し、アザラシ漁、狩猟の方法をフランクに教えた。やがて、ひと冬かくれていた太陽が地平線に昇った。白銀の世界がだんだんバラ色に染まり、やがて鮮やかな深紅に輝く。

フランクはこの光のように美しい娘・ネビロを知った。エスキモーに大切な鯨漁の季節がきた。フランクは祈禱師から銚を授かり、選ばれた組頭と銚手の中に加わった。だが、選出された者は古来の習慣から女を抱かなくてはならない。鯨が女の匂いを好むからだという。タッチャンガは女房のリツキーナをフランクにすすめたが彼はそれを拒絶した。

鯨漁が始まった。しかし、白人の捕鯨船のためにエスキモーの収穫はたった一頭に終わった。アザラシもカリブーも不猟のまま冬がきた。不猟の責任は祈禱師の言葉にそむいたフランクに向けられた。エスキモー社会では災いをもたらした者は自ら命を絶たなくてはならない。プロワーはフランクのために隣り部落の交易所を任せる手筈をつけてくれた。隣りといっても四〇〇キロも離れた場所だ。誰も見送りのない、寂しいひとりぼっちの旅立ちにネビロだけが追ってきてくれた。

「俺はジャパニだ。これから先、どこへ根をおろすか……俺と一緒にしても幸せにはなれないぞ」
「私の望みは幸せになることではありません。あなたの奥さんになること……」

二人の初夜はアザラシ皮をひいた氷原の上だった。毛皮の交易で成績を上げたフランクは一年振りにネビロと赤ん坊のキョウコを連れポイントバローへ帰ったが、エスキモーは白人の乱獲で飢餓寸前の状態だった。プロワーやネビロの父、アマオーカはフランクにこの危機を救うことを説得した。だが、海の動物が激減したいま、海岸エスキモーの生きる道は、内陸の動物を獲るより他はない。そのうえ、アラスカの極北地方を襲った麻疹は幼いキョウコをはじめポイントバロー三百名のうち百二十名の命を奪った。

そんな時、毛皮交易船が政府の救援食糧と鉱山技師、トム・カーターを乗せてきた。カーターはポイントバローからブルックス山脈を越えるルートに金脈があると推測し、フランクに発掘の協力を申し入れた。

金鉱探しも二年目に入ったが鉱脈は発見できず焦燥と疲労だけが残った。遂にカーターは金発掘を断念した。だがフランクの双肩にはエスキモーの生活と出産間近いネビロがいる。ネビロの胸が鳴った。その高鳴りは露営している湖の向うにそびえる山の麓を流れるシャンダラー河だ。河畔へ移動したフランクとネビロは遂に河底から金を発見した。

これを機に、フランクとネビロは、二百名のエスキモーをポイントバローからシャンダラー河域まで大移動をする計画を実行に移した。

1月22日(土)東宝系劇場大公開

日比谷映画街
千代田劇場
TEL 591-1716

ハチ公前
渋谷宝塚
TEL 461-8779

上野駅前
上野東宝
TEL 831-3431